

FD

プログラム番号 08213F

理工系の講義形式授業の中で学生を輝かせるひと工夫

■講師



吉田 博

(徳島大学 教育改革推進センター 助教)

愛媛大学理学部数理科学科卒業。同大学院理工学研究科数理科学専攻博士前期課程修了。専門は大学教育と数学。2009 年度から、徳島大学で全学 FD の企画・運営に携わる。



榊原 暢久

(芝浦工業大学 教育イノベーション推進センター／工学部 教授)

北海道教育大学(札幌校)小学校教員養成課程卒業。

北海道大学大学院理学研究科数学専攻博士課程単位取得退学。博士(理学)。

旭川工業高等専門学校助手・助教授、茨城大学工学部講師を経て、2009 年 4 月より現職。日本高等教育開発協会(JAED)会員。専門は高等教育開発。

■プログラム概要

理工系の専門的知識の習得や研究を行っていく上で基盤となるのは、各学科の必須科目等で学ぶ基礎知識です。基礎知識を習得するための基礎科目の授業は、大人数、講義形式によって行われることが多くあります。本プログラムでは、このような理工系基礎科目における講義形式授業の中で、学生の主体的な学びや授業外学習を促進することに繋がるひと工夫を取り扱います。はじめに、少しの工夫で取り組める、広い意味でのアクティブラーニングの実践例をいくつか紹介します。続いて、紹介した実践手法を参加者の方々が授業において実施する場合に、障害になりそうなことや課題を共有し、それらを克服するためのアイデアを話し合います。参加者のみなさんがアイデアを持ち寄ることで、自身の授業における課題解決のヒントや、今後の新しい実践のヒントが見つかることを期待しています。

■主な受講対象

- ・自身の理工系の講義形式授業の中で実施できる、広い意味でのアクティブラーニングの手法を知りたい教員
- ・自身の理工系の講義形式授業の中にアクティブラーニングを取り入れる上で、何らかの障害があると感じている教員
- ・自身の理工系の講義形式授業の中で行っているアクティブラーニングの取り組みを他の教員と共有し、改善のヒントを得たい教員

■本プログラムの到達目標

1. 理工系基礎科目における講義形式授業でのアクティブラーニングを促す実践例を1つ以上持ち帰ることができる
2. 理工系基礎科目における自身の講義形式授業をふり返ることができる
3. 理工系基礎科目における講義形式授業の取り組みについて他者と話し合うことで、自身の授業における課題解決のヒントを得ることができる

■日時・会場・受講定員

日 時 : 平成25年8月21日(水) 15:30~17:30

会 場 : 愛媛大学 城北キャンパス 校友会館 2階 サロン

定 員 : 30名